

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	若年多発性骨髄腫患者の検討
	研究目的	多発性骨髄腫患者は比較的高齢の方に起こりやすい病気ですが、50歳以下の若年の方での罹患もしばしばみられ、自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法（自家移植）を行うことにより長期寛解および生存が期待できるものの、依然として治癒は困難とされています。また、高齢の方とは病態や臨床像が異なる可能性も考えられていますが、十分に明らかとなっておらず、移植治療を行ったとしても、非常に経過が厳しい患者さんも存在します。今回、当院で治療した50歳以下の多発性骨髄腫患者の臨床像および治療経過、予後について研究することで、その特徴を明らかにし、よりよい治療は何かについても考えるきっかけとします。
	研究対象者	2011年01月から2019年12月に当センター血液・腫瘍内科にて多発性骨髄腫の治療を受けた診断時50歳以下の患者さん。
	研究期間	西暦 2021年12月27日～西暦 2023年12月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	血液・腫瘍内科 高橋 寛行
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液・腫瘍内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	該当なし